

翁

の世界

（能にして能にあらず）

令和6年

5月19日（日）

会場 庄内能楽館

【開場】13時 【開演】13時30分

人間国宝 大倉源次郎師による
翁について詳しい解説とお話し

宝生流二十代宗家 宝生和英師による
能「翁」

全席自由（定員100名）

一般 5,000円 / 18歳未満 2,000円

未就学児不可 ※電話での事前予約可

チケット販売・お問い合わせ先

公益財団法人 庄内能楽館

住所：酒田市浜松町1-5

TEL：0234-33-4568（平日 午前10時～午後5時）

mail：shonainougakukan@ivy.ocn.ne.jp

山容病院

庄内
能楽館

産業道路

光ヶ丘4丁目バス停

↑高砂

今町↓

秋田→

※駐車場は当館Pと山容病院Pがご利用いただけます。
（病院内なので静粛をお願いします。）

終演16時頃

翁

翁

宝生 和英

面箱 飯田 豪

大鼓 亀井 洋佑

三番叟 中村 修一

千歳 和久莊太郎

小鼓 大倉源次郎

脇鼓 飯富 孔明

笛 藤田 貴寛

後見

小倉健太郎
辰巳大二郎

地謡

亀井 雄二
武田 孝史
水上 優
田崎 甫

狂言後見

深田 博浩
高野 和憲

能

お話し 大倉源次郎

翁の世界 能にして能にあらず

5月19日(日) 庄内能楽館 13時半開演

能 翁(おきな)

「翁」は能にして能にあらずといわれ、一種は神事として極めて厳粛且つ儀式性の濃い祝禱の舞として古くから重んじられてきました。千歳・翁・三番叟の三人の役者が、順次歌舞を勤めますが、三者の間に戯曲的な構成はなく天下泰平・国土安穩・五穀豊穰を祈願してめでたい舞を舞い、延年を祝福します。

宝生 和英 ほうしょう かずふさ

シテ方宝生流二十代宗家

1986年(昭和61)生まれ。父十九代宗家宝生英照に師事。宝生流能楽師佐野萌、今井泰男、三川泉に薫陶を受ける。

1991年(平成3年)「西王母」子方で初舞台。2008年(平成20年)宝生流二十代宗家を継承。

これまでに「鷲」「乱」「石橋」「道成寺」「翁」「安宅延年之舞」、一子相伝曲「弱法師双調之舞」を披く。伝統的な公演に重きを置く一方で、異流共演・復曲も行う。また公演活動のほか、マネジメント業務、イタリアや香港、アブダビ、ドバイを中心に文化交流事業を手掛ける。2019年(平成31年)第40回松尾芸能賞新人賞受賞。

大倉 源次郎 おおくら げんじろう

小鼓方大倉流十六世宗家

1957年(昭和32)生まれ。大鼓方大倉流宗家預かり。重要無形文化財各個認定保持者(人間国宝)。公益社団法人能楽協会理事。流派を超えて21世紀の能を考える「能楽座」座員。能公演はもとより誰もが日本文化である能と気軽に出会えるよう「能楽堂を出た能」をプロデュース。2014年(平成26年)度観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞。

2000年(平成12年)8月には奈良県の大淀町でいこしえの猿楽座「檜垣本座」を顕彰する能を「能楽座」として制作協力。

和久 莊太郎 わく そうたろう

1974年横浜市生 名古屋出身 東京藝術大学音楽学部邦楽科卒

故宝生英雄18世宗家・故宝生英照19世宗家に師事。「石橋」「道成寺」「乱」「乱 和合」を披く。

涌宝会(同門会)主宰

和久莊太郎 演能空間(個人演能会)主宰

アルゼンチン・中国・エジプト・イタリアなどの海外公演参加。

中村 修一 なかむら しゅういち

1989年京都府出身。野村万作に師事。能楽協会会員。98年入門、00年『業平餅』稚児役で初舞台。

慶応義塾大学法学部卒業。

9歳で入門後、『魚説法』『太鼓負』などに出演。16年『三番叟』『奈須与市語』、20年『釣狐』を披く。

松尾塾伝統芸能、庄内能楽館の狂言教室を指導。早稲田大学・共立女子大学・東京女子大学の狂言サークルを指導している。